

道内の感染状況等について

【令和4年11月2日】

主な指標の状況

		移行指標			その他指標	
11/1	レベル	病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	新規 感染者数 今週先週比	陽性率
全道	2	31.5% (727床) ↑	5.6% (7床) ↑	644.8人/週 (33426人/週) ↑	1.42 ↑	50.0% ↑
札幌市	2	39.4% (294床) ↑	2.0% (1床) ↓	631.6人/週 (12383人/週) ↑	1.53 ↑	82.2% ↑
札幌市を 除く地域	2	27.8% (433床) ↑	8.0% (6床) ↑	652.9人/週 (21043人/週) ↑	1.36 ↑	40.6% ↑
レベル2 移行指標		20%	又は 20%	15人/週		
レベル3 移行指標		50%	又は 50%	—		

※()は実数。各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

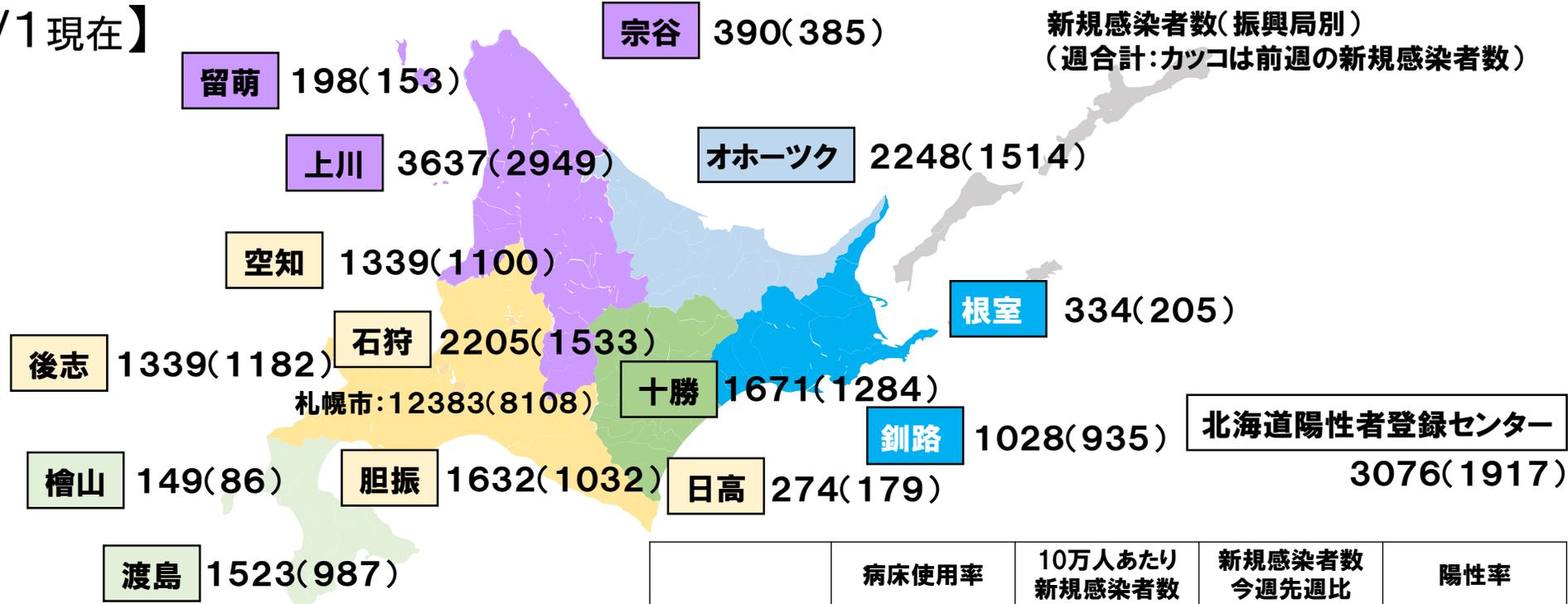
(注)・令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「療養者数」、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

・レベル分類については、国に対し新たな考え方を示すよう求めており、示されるまでの間は、公表しなくなった指標を除いて運用する。

・札幌市の陽性率については、高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数(13,886人)を検査数に含めず算出。検査数に含む場合、札幌市 42.8% 全道 41.4% となる。

地域における主な指標の状況

【11/1現在】



	病床使用率	10万人あたり 新規感染者数	新規感染者数 今週先週比	陽性率
札幌市	39.4% (294床)	631.6人/週 (12383人/週)	1.53	82.2%
道央圏 (札幌市除く)	27.0% (134床)	507.7人/週 (6789人/週)	1.35	32.3%
道北圏	35.8% (119床)	726.5人/週 (4225人/週)	1.21	36.4%
道南圏	24.5% (59床)	406.7人/週 (1672人/週)	1.56	28.9%
十勝圏	47.4% (81床)	503.5人/週 (1671人/週)	1.30	38.3%
オホーツク圏	11.1% (14床)	834.5人/週 (2248人/週)	1.48	36.9%
釧路・根室圏	13.5% (26床)	466.5人/週 (1362人/週)	1.19	45.6%

※地域別の病床使用率や新規感染者数等の数値は、変動が大きくなる場合があることに留意。

※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、振興局別(圏域別)の新規感染者数は届出があった医療機関の所在地別となっている。また、「療養者数」、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

※札幌市の陽性率については、高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数(13,886人)を検査数に含めず算出。検査数に含む場合、42.8%となる。

総評 ①

【全国の様況】

○ 全国では、新規感染者数の増加傾向が続いている。北海道は10月26日以降、10万人当たりの新規感染者数が全国最多となっている。

※参考：11月1日、新規感染者数先週比 東京1.22、大阪1.10、福岡1.14、沖縄1.06（北海道調べ）

【医療提供体制】

○ 病床使用率については、31.5%と、増加傾向となっている。また、札幌市については39.4%と、同様に増加傾向となっている。また、道央圏や道北圏、十勝圏では高い水準となっている。重症病床使用率は増加が続いており、5.6%となっている。

【感染状況】

○ 新規感染者数は、人口10万人当たりでは644.8人。10月13日に今週先週比が1を上回って以降、増加局面となっており、増加幅に変化があるものの増加傾向が継続している。年代別では、引き続き、30代以下の割合が約6割を占めており、特に10代の割合が約2割と増加してきている。

総評 ②

【今後の対策】

- 現在の感染拡大について、国の専門家からは、夜間滞留人口の増加など人の動きの活発化や、気温が下がり、換気しにくい時期となったこと、体調管理が難しくなっていること、ワクチン接種により獲得した免疫の低下などが指摘されている。
- これまでの新たな変異株による感染拡大と異なり、現在の流行株は、今夏の感染拡大と同じBA.5系統であり、対策としては、これまで同様に基本的な感染防止対策が有効とされている。
- このため、特に、感染リスクの高まる場面におけるマスクの適切な着用のほか、工夫した換気の実施、体調管理に十分注意するなど、基本的な感染防止行動を実践いただけるよう、改めて呼びかける。また、10代以下の感染者数が増加してきていることから、児童・生徒や保護者の皆様へ、改めて周知する。さらに、オミクロン株対応ワクチンの早期接種について検討いただけるよう働きかける。
- 企業などの事業所や高齢者施設、医療機関等における感染リスクが高まる場面の確認や、観光事業者等における事業者と利用者の双方が行う取組の徹底など、感染防止対策について、改めて点検するよう依頼する。

総評 ③

- 保健医療提供体制については、これまで、検査キットの配布など検査体制の充実や、入院患者の増加に即応した病床の確保、陽性者健康サポートセンターの設置など自宅療養者への支援(※)などに努めるほか、全数届出の見直しに伴い、重症化リスクのある高齢者等への対応に重点を置く体制を整えてきたところであり、今後とも、こうした体制を維持確保し、機能が十分に発揮できるよう、地域の状況を丁寧に把握しながら、改めて確認を行う。 (※)全数届出見直し後の状況について(スライド⑳)
- 即応病床については、入院患者数が増加している道央圏、道北圏、十勝圏のフェーズを11月7日から2に引き上げる。道南圏などにおいても入院患者数が増加していることから、地域との調整などフェーズ2への引き上げを検討する。また、他の圏域についても入院患者数の増加に即応できるよう、医療機関と連携を密にしながら、地域の感染状況等についてモニタリングを行う。
- 季節性インフルエンザとの同時流行については、外来医療体制の強化等を図る「外来医療体制整備計画」の策定に向け、道内におけるピーク時の発熱患者数や診療体制の状況、今後の対応等について、専門家からご意見をいただいたところであり、引き続き、関係団体等とも丁寧に議論を行いながら、策定作業を進める。

総 評 ④

- 本道において新規感染者数が増加する中、国による病床確保料の見直しについては、今後の病床確保に影響が生じかねないものであり、全国知事会を通じ、地域の実情に応じた制度設計とすることなどについて、国に求めてきた。道としては、関係団体のご意見も踏まえながら、引き続き、全国知事会とも十分連携し、国に必要な対応を求めていく。
- 北海道ワクチン接種センターにおけるオミクロン株対応ワクチンの接種については、12月3日以降分の予約を予定より前倒し、11月3日から受付開始する。道内市町村でも順次接種が開始されているが、年内に希望する方全員が接種いただけるよう、SNSや情報誌等、多様な媒体による広報を進める。また、従来型ワクチンの1、2回目接種が完了していない方についても年内に完了いただけるよう、働きかけを行う。

入院患者数と病床使用率（全道）

入院患者数（人）

1,400

1,200

1,000

800

600

400

200

0

■ **入院患者数（全道）** 11月1日 **727人**
— **病床使用率（全道）** 11月1日 **31.5%**

病床使用率

100%

90%

80%

70%

60%

50%

40%

30%

20%

10%

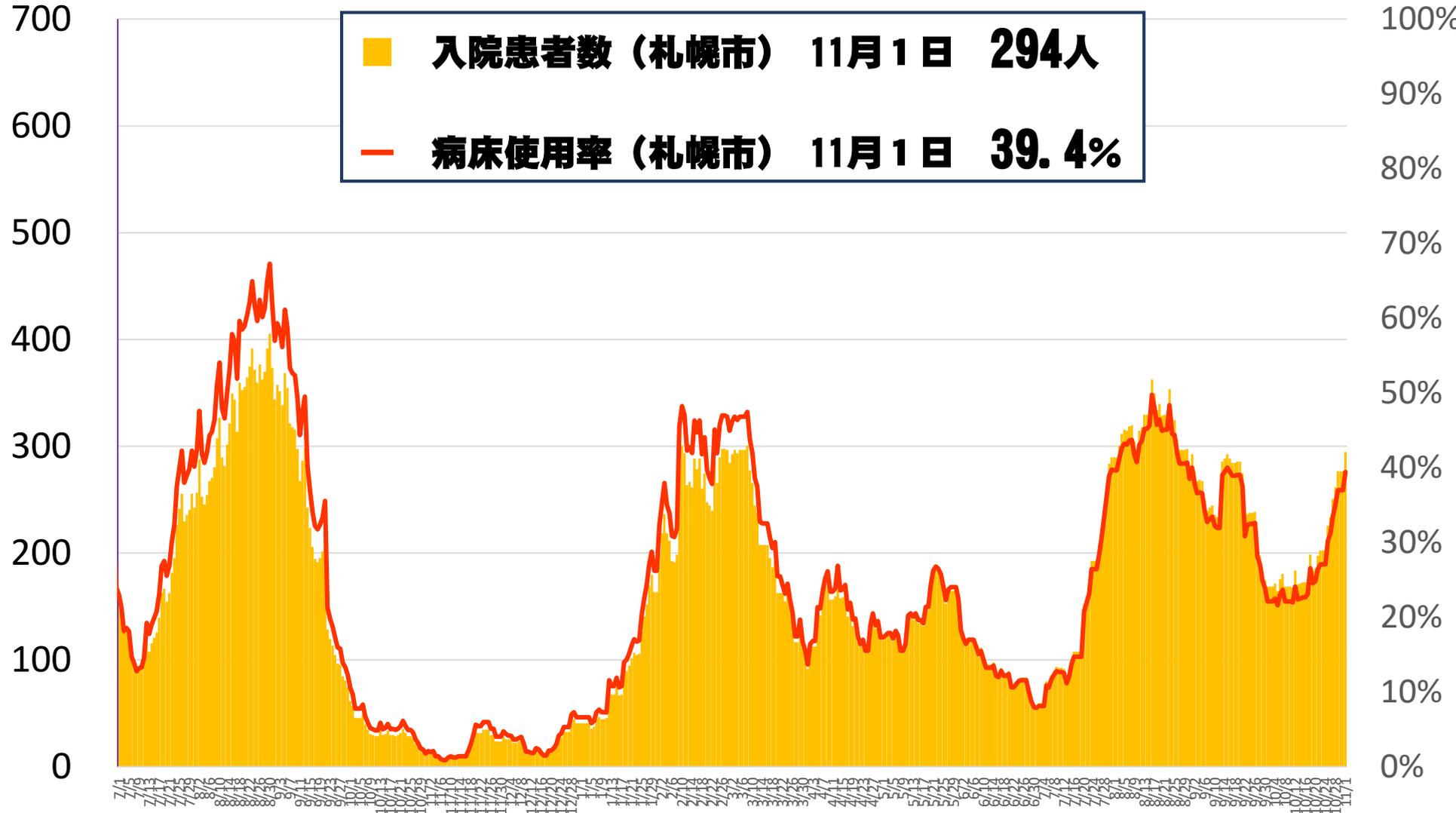
0%



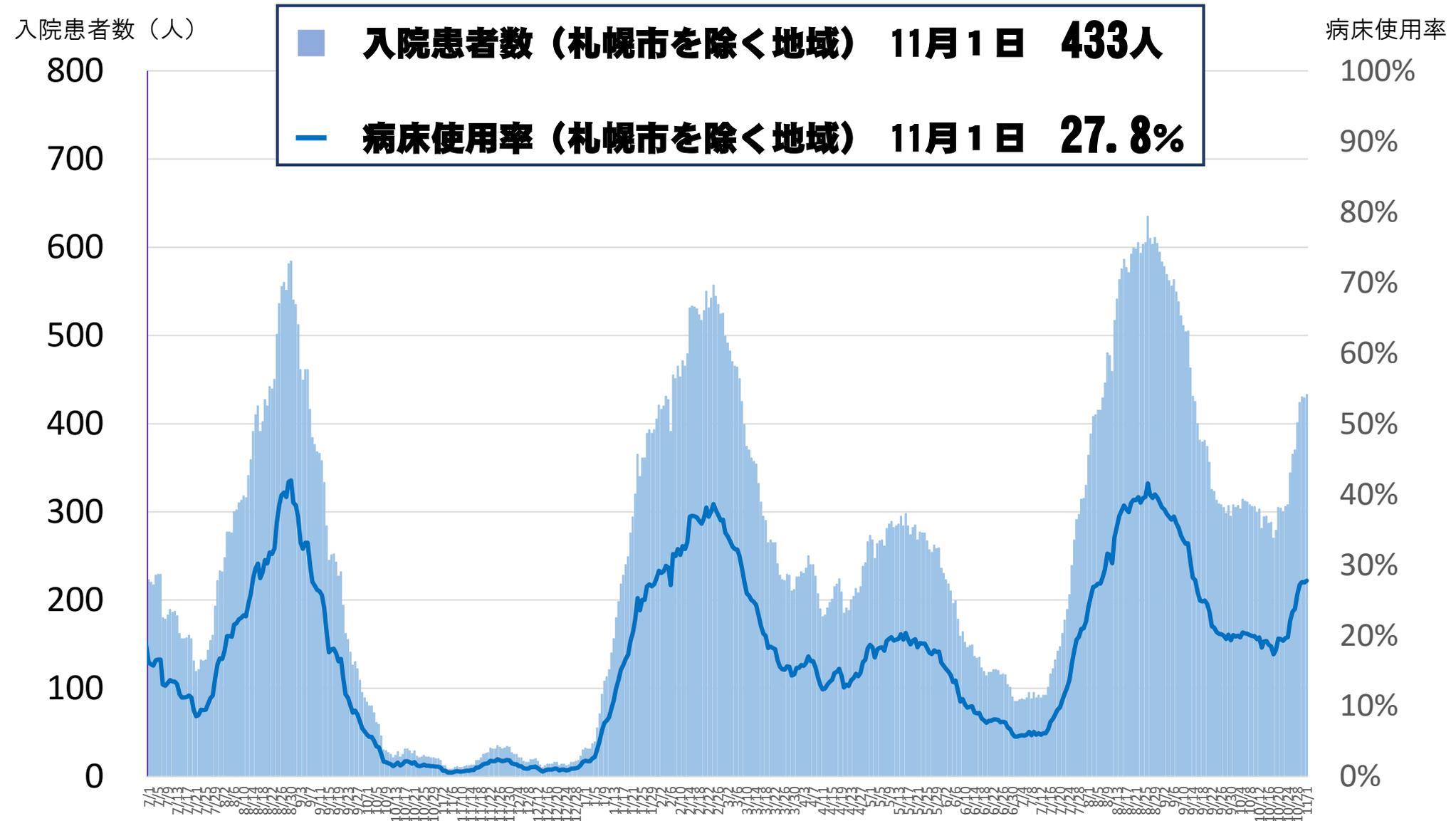
入院患者数と病床使用率（札幌市）

入院患者数（人）

病床使用率



入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）



重症者数と重症病床使用率（全道）

重症者数（人）

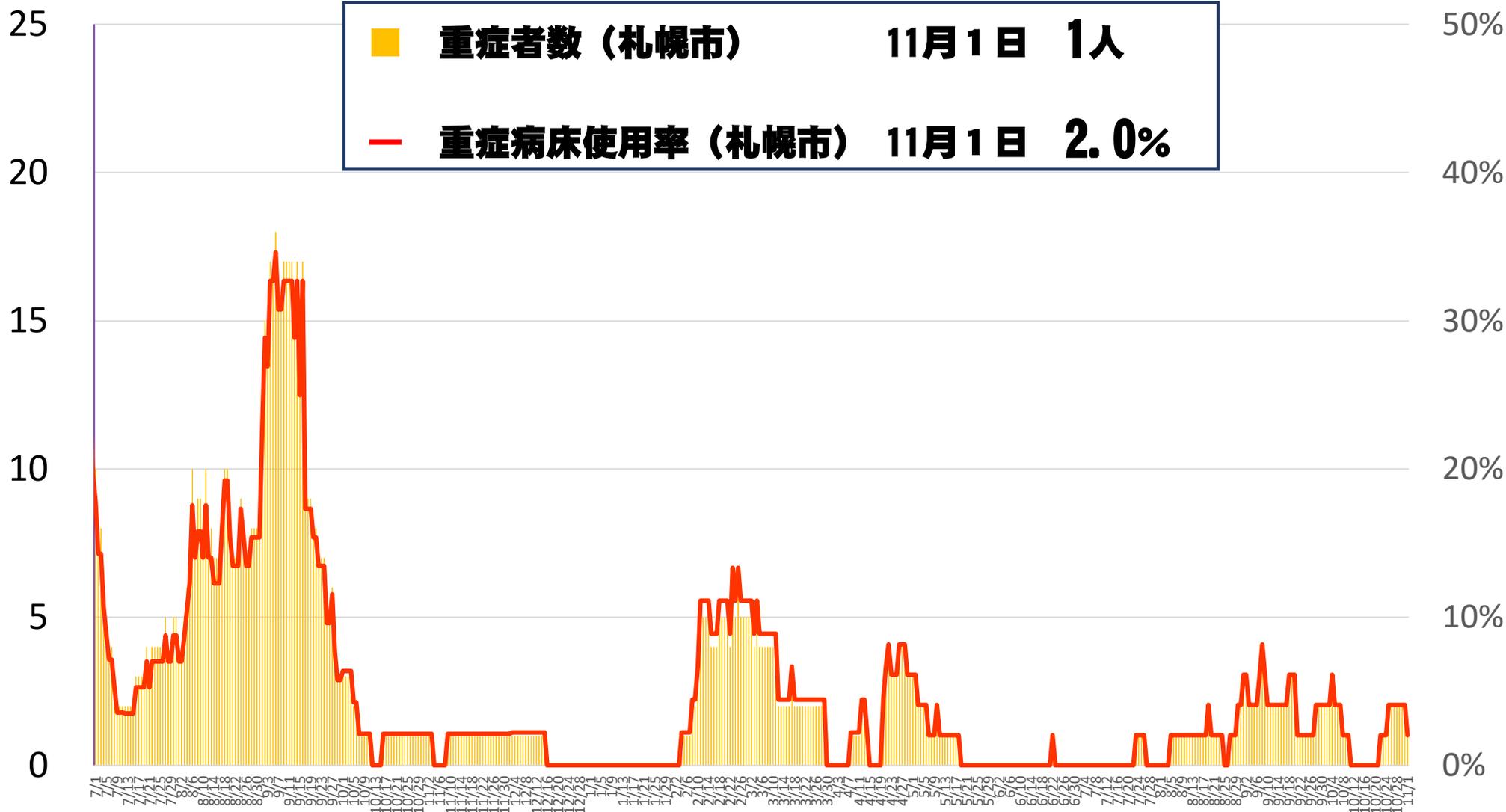
病床使用率



重症者数と重症病床使用率（札幌市）

重症者数（人）

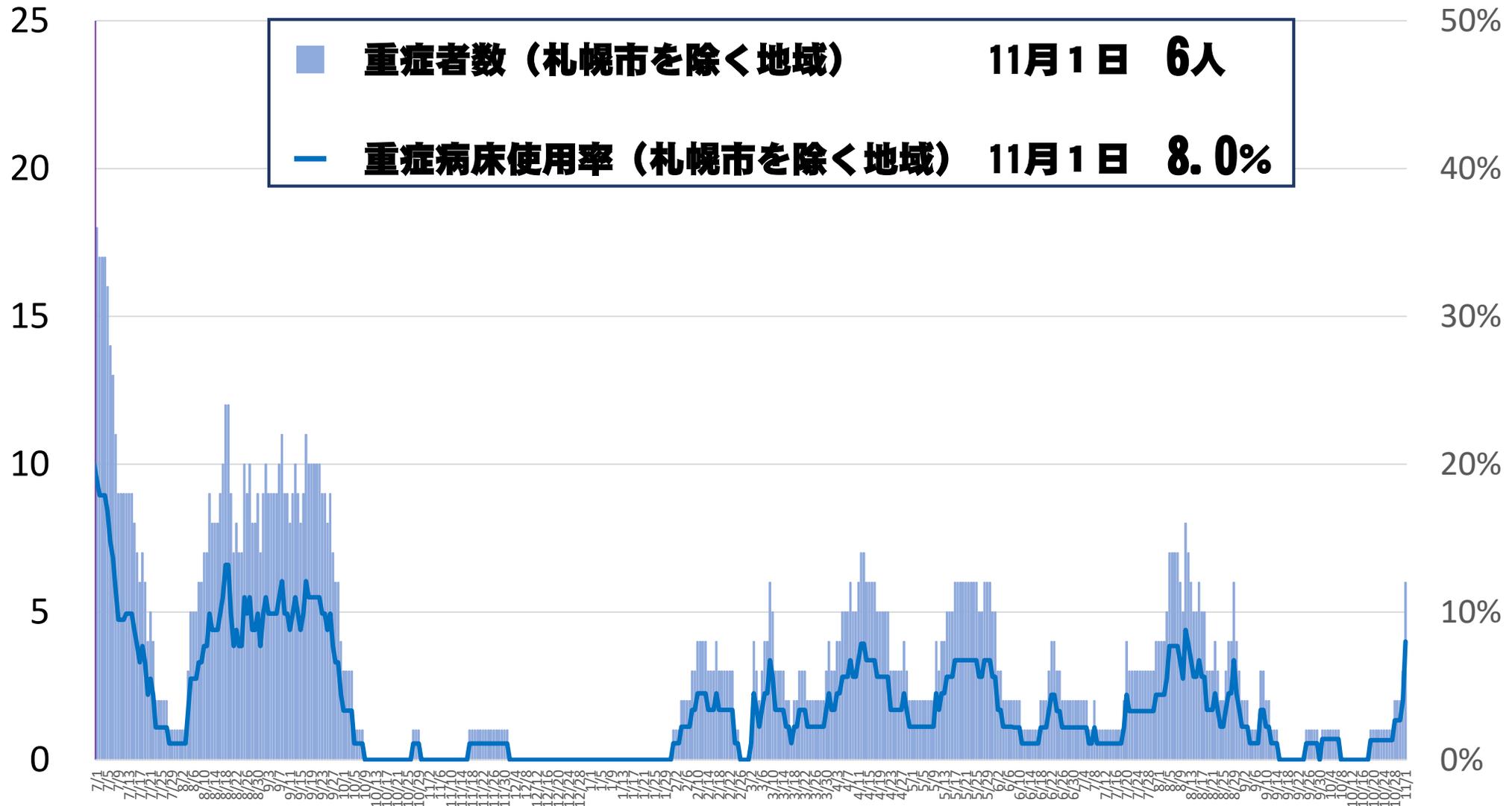
病床使用率



重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）

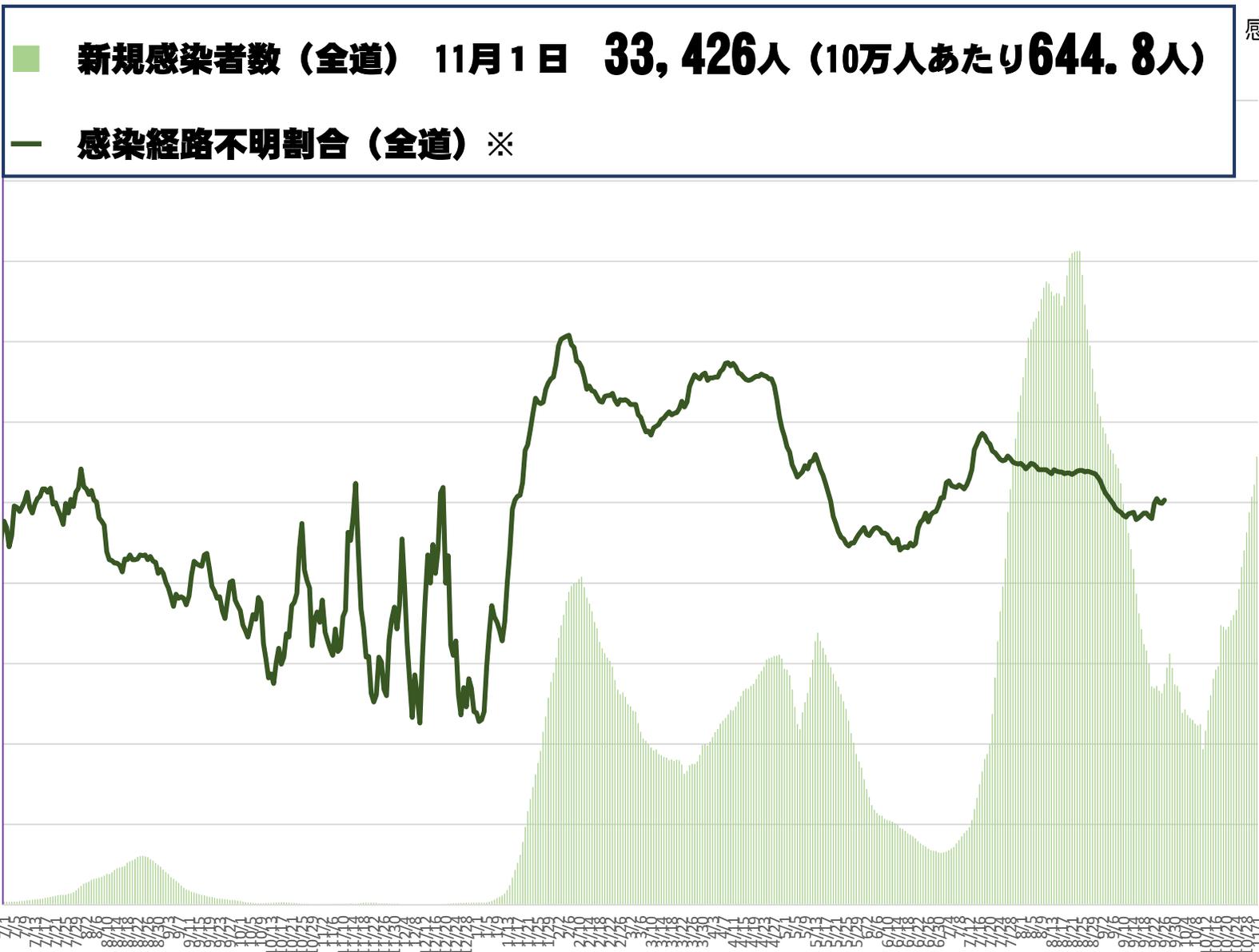
重症者数（人）

病床使用率



新規感染者数（全道）

新規感染者数
(7日間合計)
(人)



感染経路不明割合
(7日間平均)

100%

90%

80%

70%

60%

50%

40%

30%

20%

10%

0%

※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

新規感染者数（札幌市）

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

■ **新規感染者数（札幌市） 11月1日 12,383人（10万人あたり631.6人）**

— **感染経路不明割合（札幌市）※**

感染経路不明割合
(7日間平均)

25,000

100%

22,500

90%

20,000

80%

17,500

70%

15,000

60%

12,500

50%

10,000

40%

7,500

30%

5,000

20%

2,500

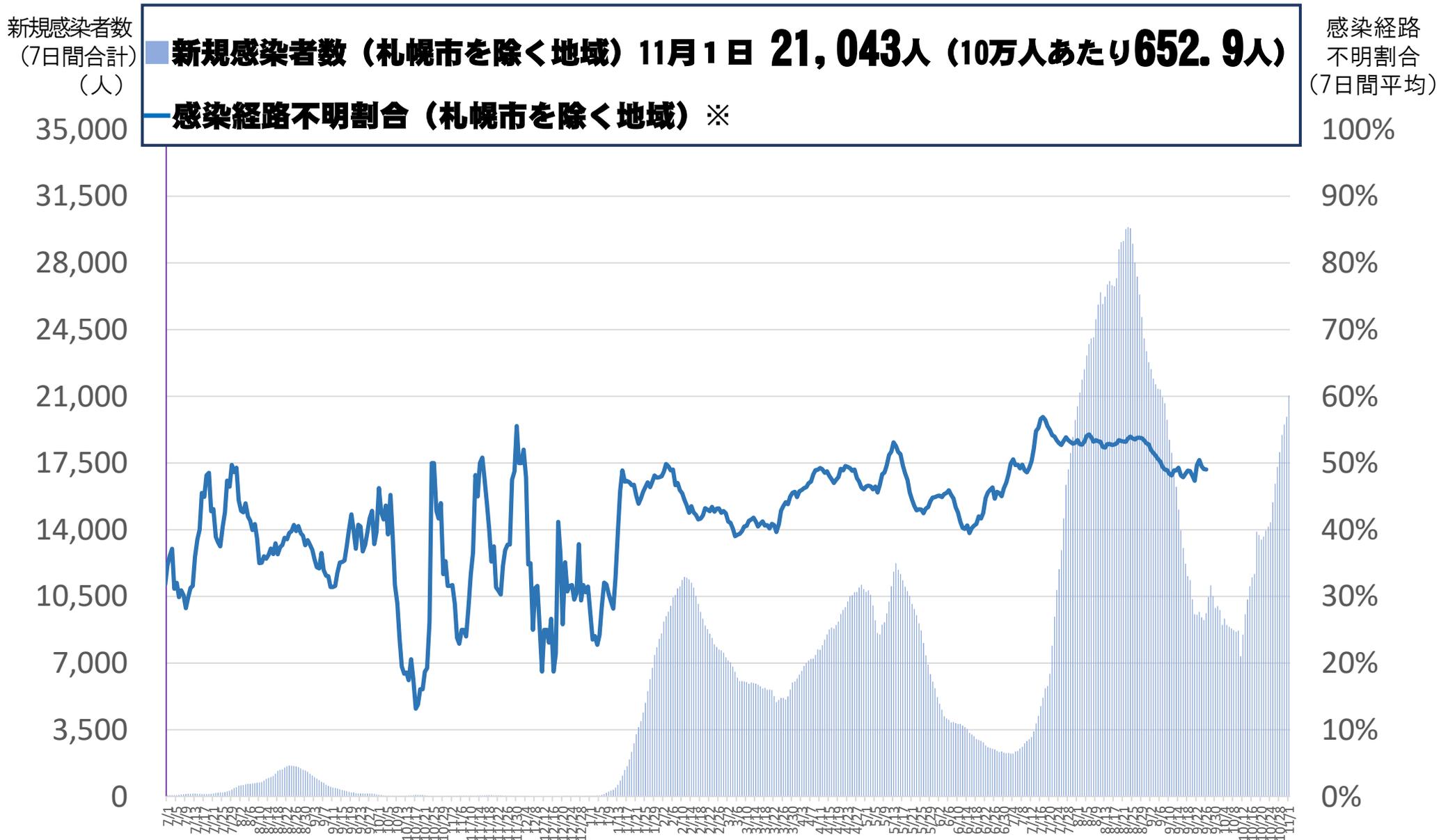
10%

0

0%

※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

新規感染者数（札幌市を除く地域）



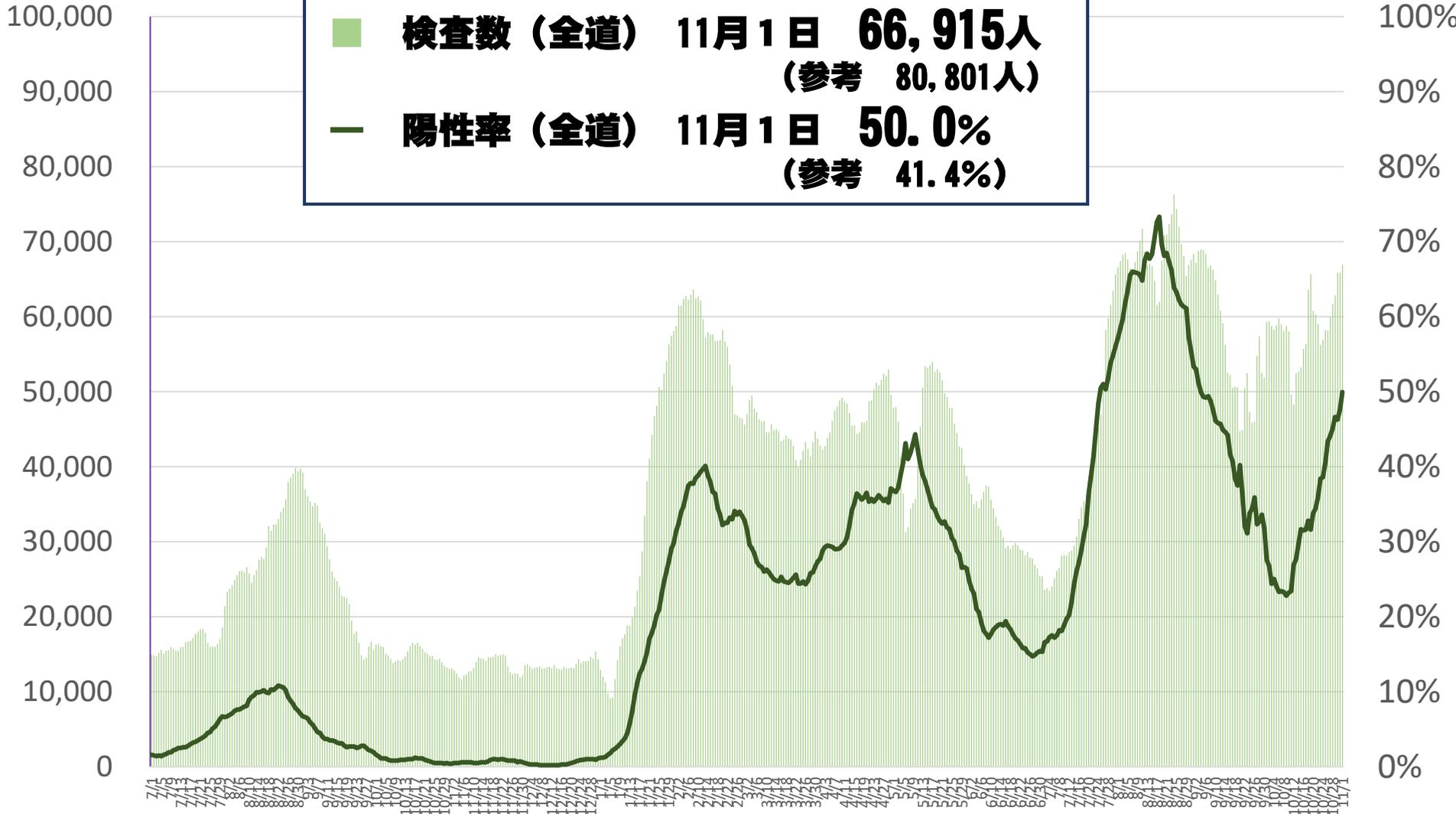
※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

検査数と陽性率（全道）

検査数（人）
（7日間合計）

陽性率
（7日間平均）

■ **検査数（全道）** 11月1日 **66,915人**
（参考 80,801人）
— **陽性率（全道）** 11月1日 **50.0%**
（参考 41.4%）



（参考）検査数には、札幌市を除く地域における高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数（2,234人）を含む。
参考として、札幌市における頻回検査数（13,886人）を含む検査数・陽性率を掲載している。

検査数と陽性率（札幌市）

検査数（人）
（7日間合計）

陽性率
（7日間平均）

50,000

100%

45,000

90%

40,000

80%

35,000

70%

30,000

60%

25,000

50%

20,000

40%

15,000

30%

10,000

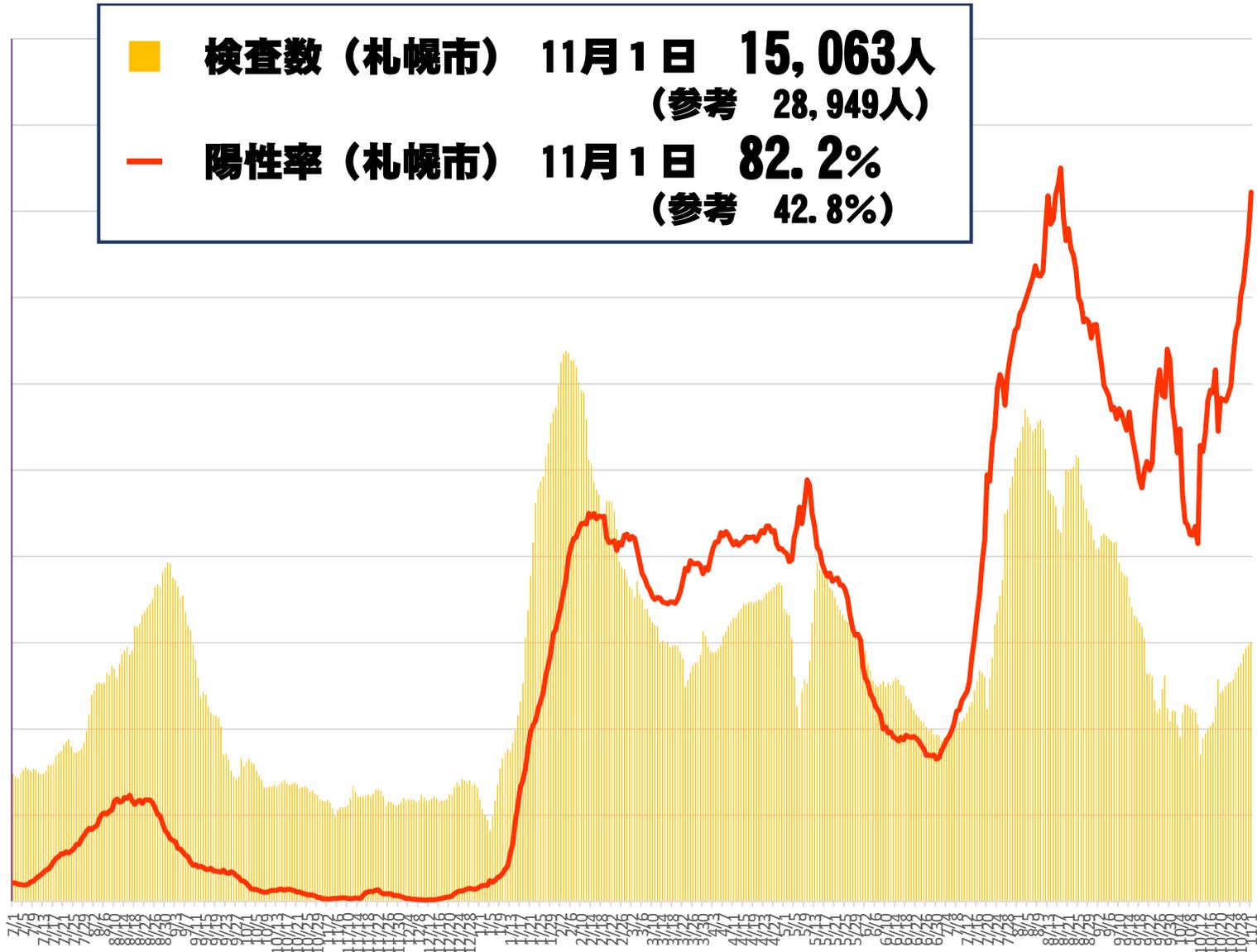
20%

5,000

10%

0

0%



（参考）参考として、高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数(13,886人)を含む検査数・陽性率を掲載している。

検査数と陽性率（札幌市を除く地域）

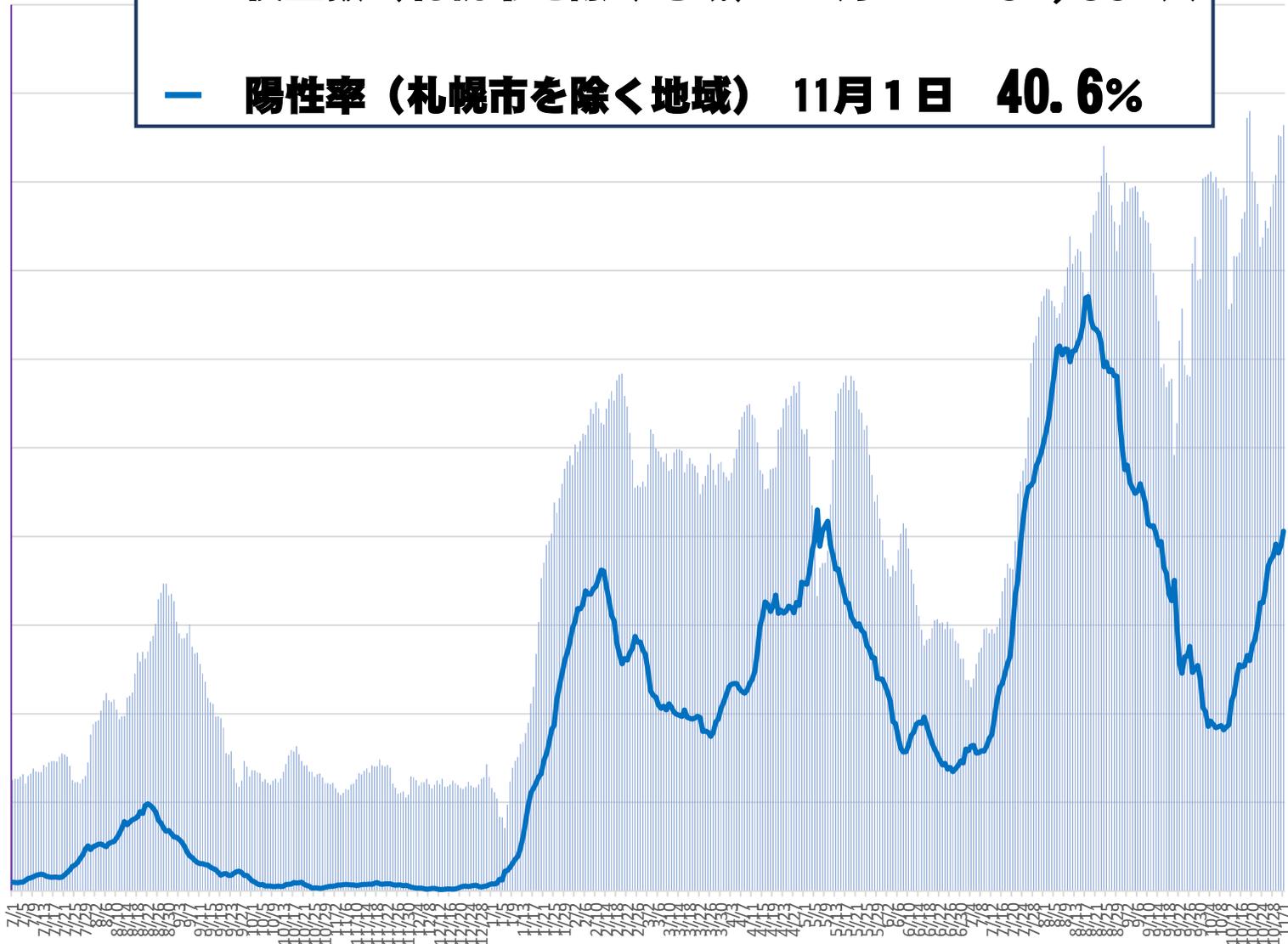
検査数(人)
(7日間合計)

陽性率
(7日間平均)

■ **検査数（札幌市を除く地域） 11月1日 51,852人**
— **陽性率（札幌市を除く地域） 11月1日 40.6%**

60,000
54,000
48,000
42,000
36,000
30,000
24,000
18,000
12,000
6,000
0

100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%



注: 検査数には、高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数(2,234人)を含む。

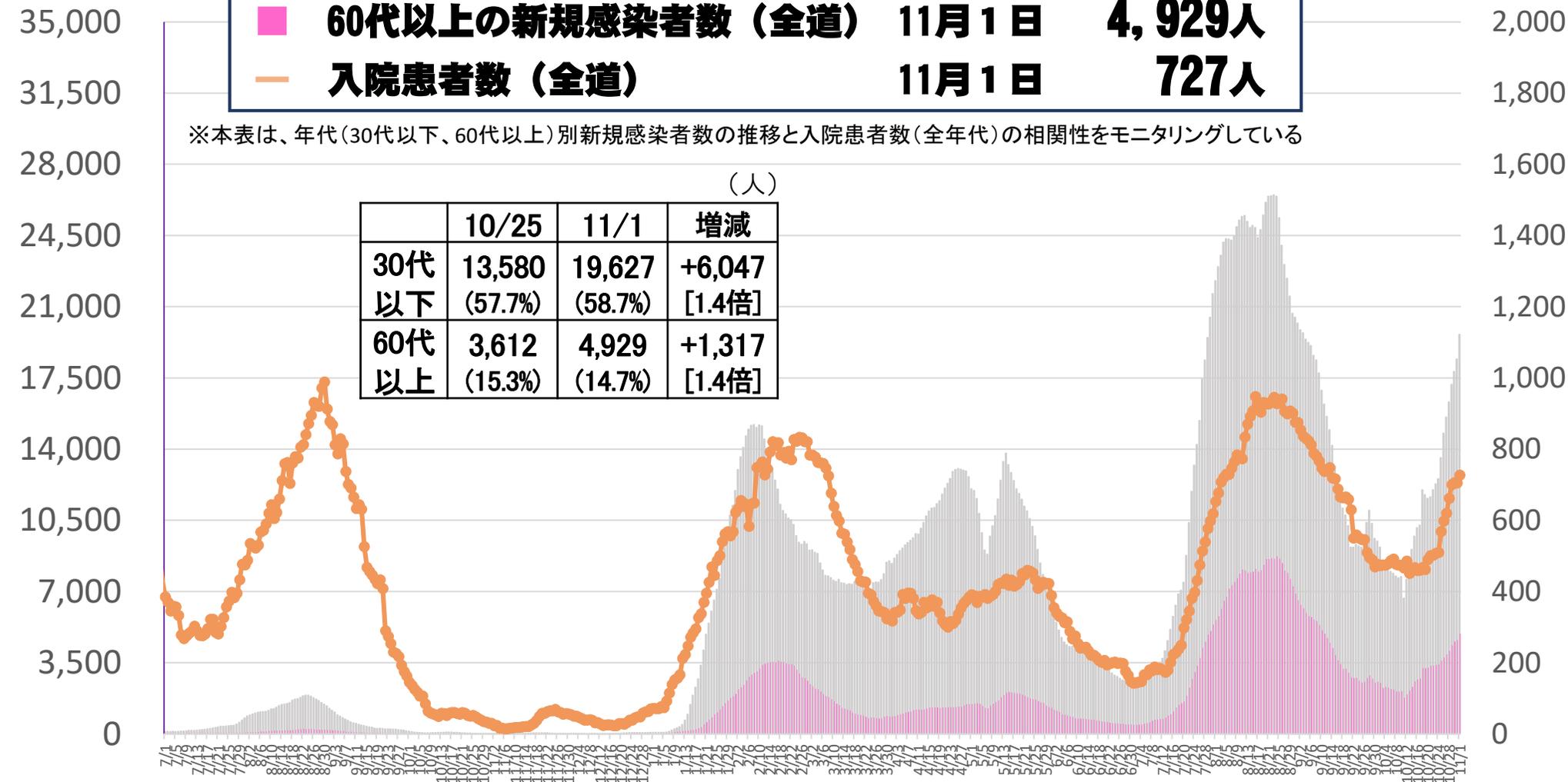
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)

新規感染者数(人)
(7日間合計)

入院患者数
(人)

■	30代以下の新規感染者数(全道)	11月1日	19,627人
■	60代以上の新規感染者数(全道)	11月1日	4,929人
—	入院患者数(全道)	11月1日	727人

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(参考)

	10/25	11/1	増減
10代	4,560 (19.4%)	6,863 (20.5%)	+2,303 [1.5倍]

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

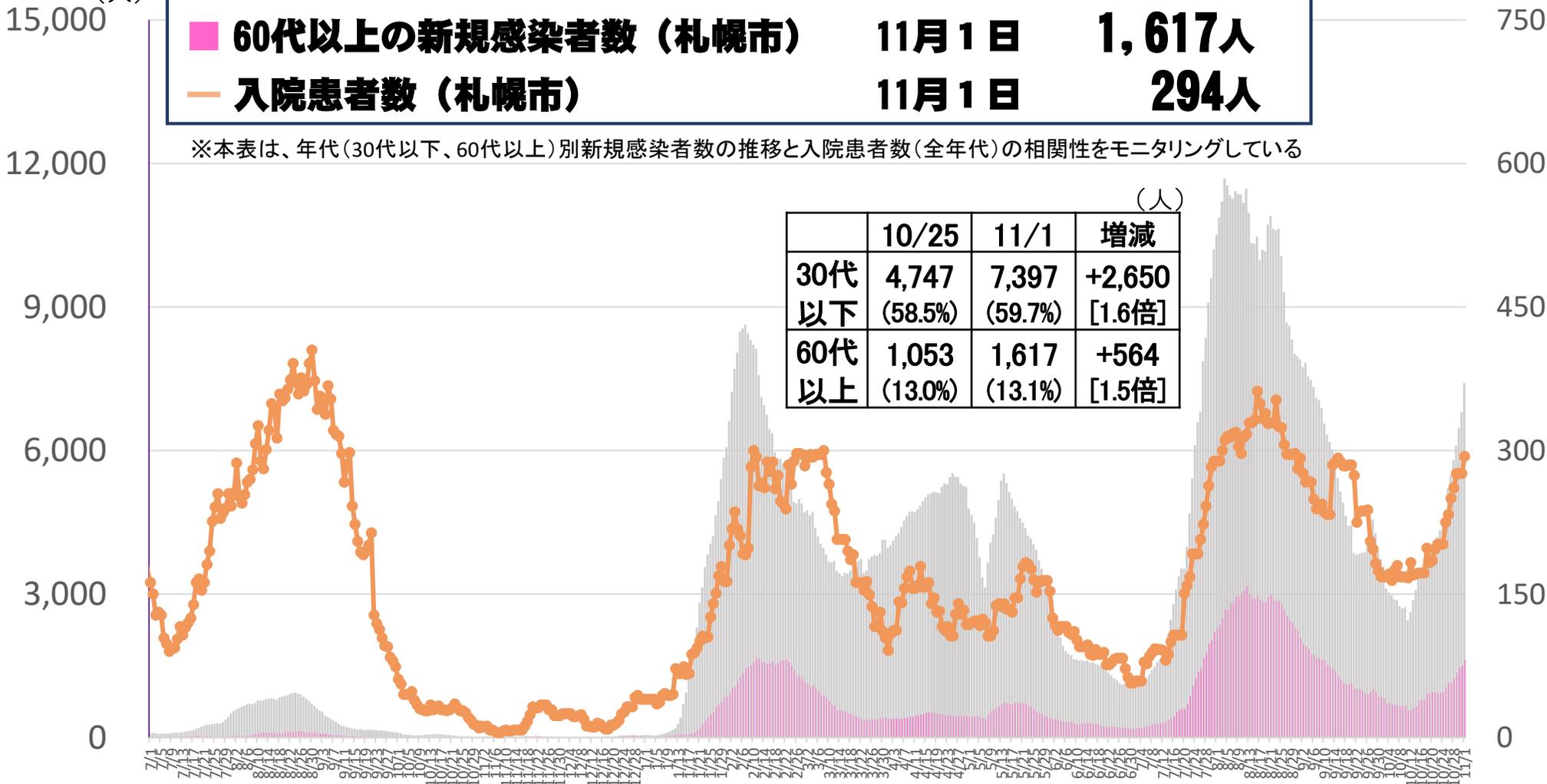
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

入院患者数
(人)

■ 30代以下の新規感染者数 (札幌市)	11月1日	7,397人
■ 60代以上の新規感染者数 (札幌市)	11月1日	1,617人
— 入院患者数 (札幌市)	11月1日	294人

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(参考)

	10/25	11/1	増減
10代	1,514 (18.7%)	2,462 (19.9%)	+948 [1.6倍]

(人)

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

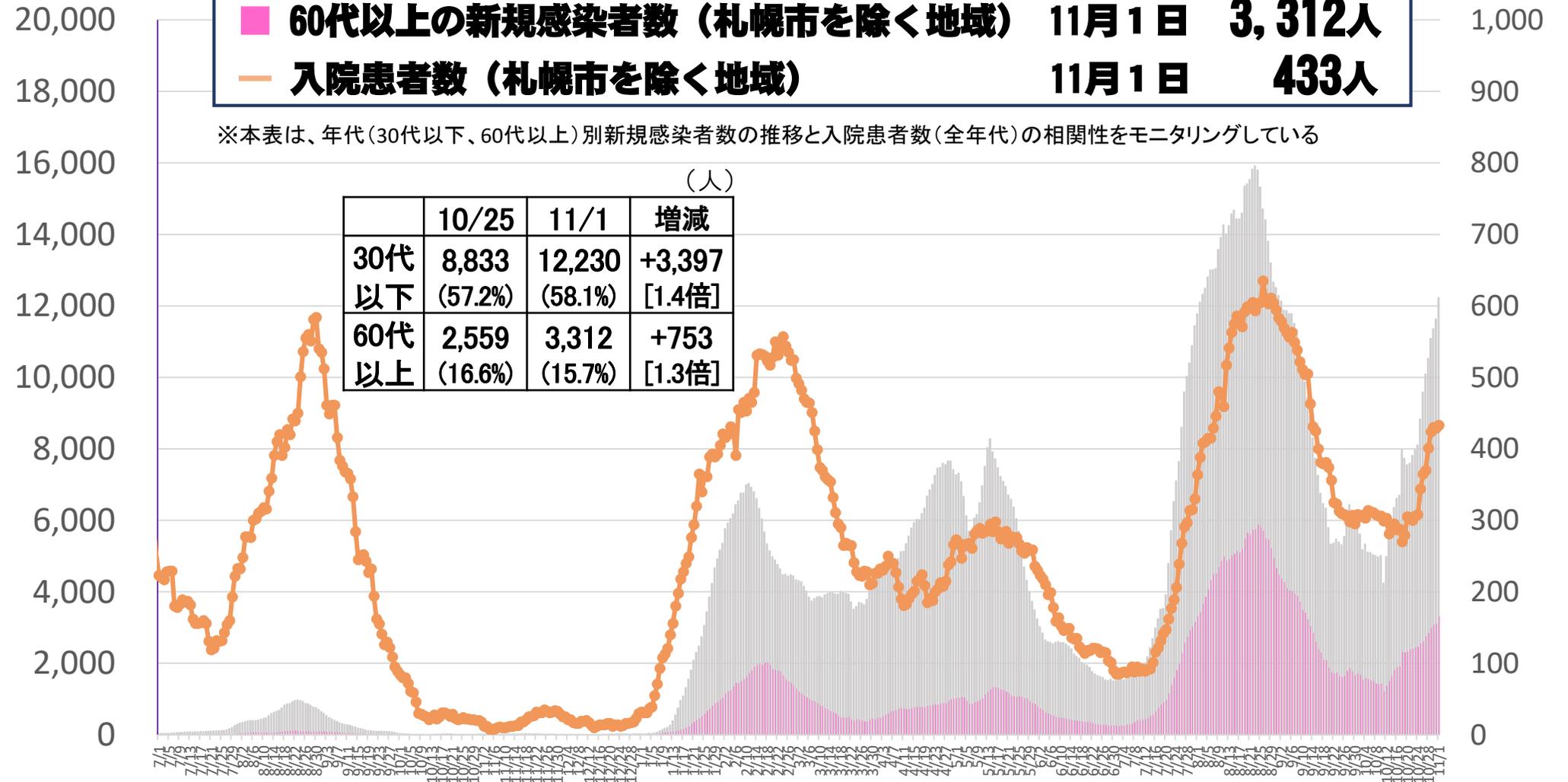
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)

新規感染者数
(7日間合計)(人)

■ 30代以下の新規感染者数 (札幌市を除く地域)	11月1日	12,230人
■ 60代以上の新規感染者数 (札幌市を除く地域)	11月1日	3,312人
— 入院患者数 (札幌市を除く地域)	11月1日	433人

入院患者数
(人)

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(人)

	10/25	11/1	増減
30代以下	8,833 (57.2%)	12,230 (58.1%)	+3,397 [1.4倍]
60代以上	2,559 (16.6%)	3,312 (15.7%)	+753 [1.3倍]

(参考)

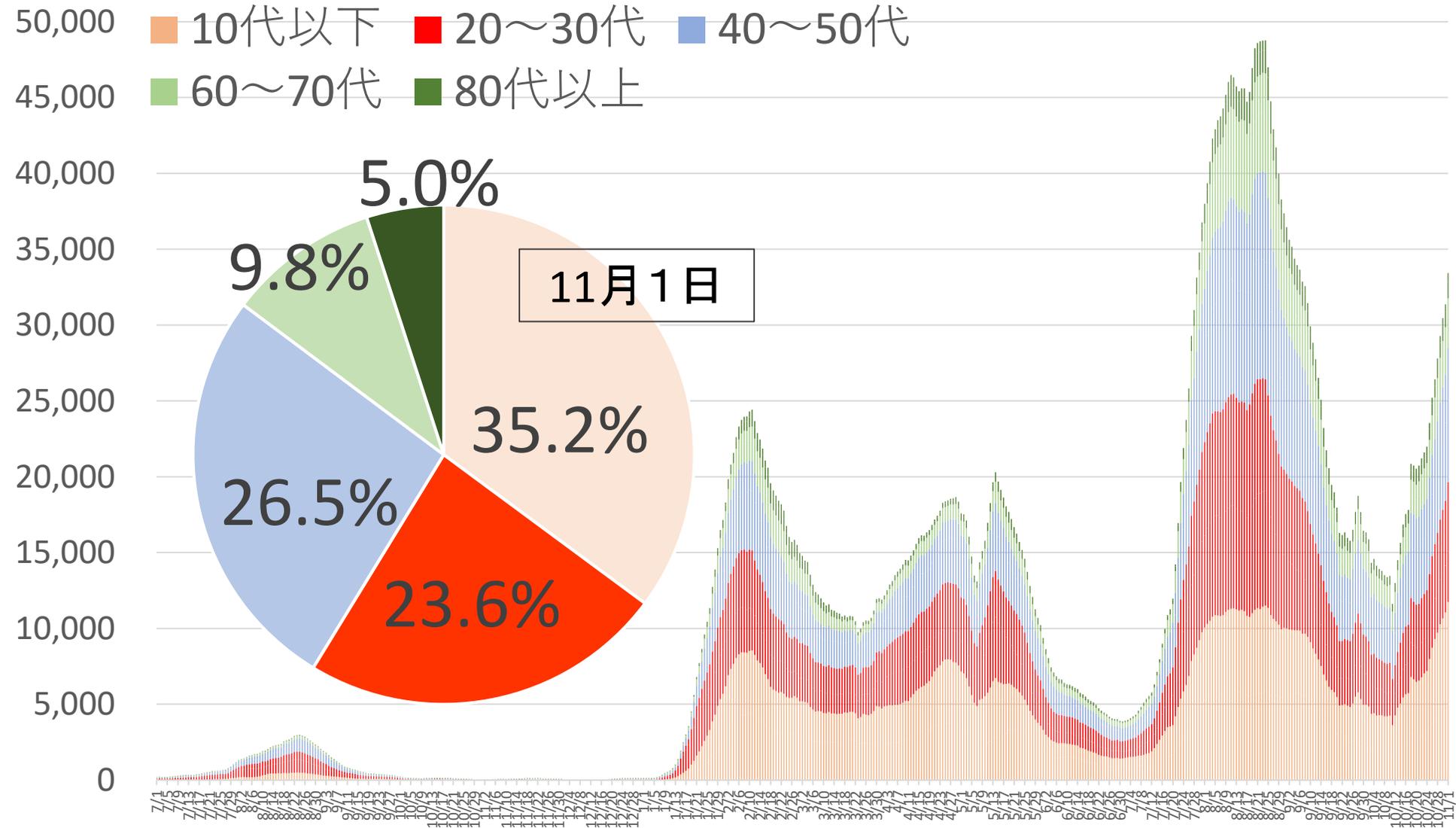
	10/25	11/1	増減
10代	3,046 (19.7%)	4,401 (20.9%)	+1,355 [1.4倍]

(人)

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

年代別新規感染者割合と推移(全道)

感染者数(人)
(7日間合計)



(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

集団感染の発生状況(医療施設・福祉施設)

	10/12~18			10/19~25			10/26~11/1		
	合 計			合 計			合 計		
		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設
全 道	63件	10件	53件	67件	16件	51件	103件	24件	79件
札幌市	11件	—	11件	12件	—	12件	27件	—	27件
札幌市を除く地域	52件	10件	42件	55件	16件	39件	76件	24件	52件

※令和4年9月26日以降、集団感染については、発生時以降の増加人数を公表していないため、件数のみを掲載している。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況(医療従事者等分を含む。10/31現在)

<3回目接種の状況>

区分	3回目	
	接種者数	接種率
北海道	3,555,003	68.6%
うち65歳以上	1,519,997	90.8%
(参考) 全国	83,353,543	66.2%
うち65歳以上	32,596,393	90.7%

<4回目接種の状況>

区分	4回目	
	接種者数	接種率
北海道	1,938,024	—
うち60歳以上	1,516,103	75.4%
(参考) 全国	41,032,961	—
うち60歳以上	32,464,713	75.0%

<1・2回目接種の状況 ※全年代(5歳以上11歳以下の小児への接種分を含む)>

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,339,687	83.7%	4,279,122	82.5%
うち小児	59,479	22.1%	56,842	21.2%
(参考) 全国	104,279,652	82.8%	102,928,144	81.7%
うち小児	1,465,561	20.0%	1,399,980	19.1%

※接種率は令和4年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種率は含まない)。

また、1・2回目接種における医療従事者等は首相官邸HP公表値による、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

2 ワクチンの種類と接種対象者

区分	ファイザー (乳幼児用)	ファイザー (小児用)	ファイザー	モデルナ	ノババックス	ファイザー (BA.1、BA.4/5)	モデルナ (BA.1)
ワクチンの種類	従来株					オミクロン株対応2価	
	m-RNA				組換えタンパク	m-RNA	
初回接種 (1、2回目)	2回 (21日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (28日間隔)	2回 (21日間隔)	—	—
対象者	6ヶ月以上 4歳以下	5歳以上 11歳以下	12歳以上	12歳以上	12歳以上	—	—
初回接種 (3回目)	1回 (55日間隔)	—	—	—	—	—	—
対象者	6ヶ月以上 4歳以下	—	—	—	—	—	—
追加接種 (3回目)	—	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (3ヶ月間隔)	1回 (3ヶ月間隔)	1回 (6ヶ月間隔)	初回接種を完了した12歳以上の方が対象で1回接種 前回接種から3ヶ月間隔	初回接種を完了した18歳以上の方が対象で1回接種 前回接種から3ヶ月間隔
対象者	—	5歳以上 11歳以下	12歳以上	18歳以上	18歳以上		
追加接種 (4回目)	—	—	1回 (3ヶ月間隔)	1回 (3ヶ月間隔)	—		
対象者	—	—	60歳以上や 基礎疾患等	60歳以上や 基礎疾患等	—		
追加接種 (5回目)	—	—	—	—	—		
対象者	—	—	—	—	—		
その他	10月24日から	—	—	—	—	—	BA.4/5は 薬事承認済

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

3 ワクチン接種の取組について

<市町村支援>

- オミクロン株対応ワクチンに関し、接種体制やワクチンの配分数など、国からの情報を速やかに情報提供するとともに、国から道に納入されたワクチンの各市町村への小分け移送など、きめ細かな支援を実施。

<オミクロン株対応ワクチンに係る広報等>

- オミクロン株ワクチンの接種率向上のため、JR普通列車の中吊り広告やJRタワー札幌でのデジタルサイネージなど、新たな手法による広報を積極的に展開。また、新たにチラシを作成し、市町村をはじめ、関係団体の協力を得て、各企業へ配布へするとともに、医療系フリーペーパーや情報誌へ掲載。

<JR中吊り広告>



<小児接種等に係る広報等>

- 3回目接種の開始や努力義務化などを踏まえ、改めて情報発信。チラシをフリーペーパーに掲載する等、小児接種への理解促進等に関する広報とともに、新たに特例臨時接種の対象となった乳幼児接種に係る情報発信を順次実施。

<初回接種未了者への呼びかけ>

- 各広報媒体とともに対策本部会議や知事記者会見で、初回接種が完了していない場合、オミクロン株対応ワクチンの接種ができないことや、年内に初回接種を完了することで、年度末までに接種が可能となることを呼びかけ。

※ 季節性インフルエンザとの同時流行が想定されていることから、高齢者等、インフルエンザワクチンの定期接種対象者の方の早期接種検討を呼びかけ

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 北海道ワクチン接種センター

- ノババックスワクチン～11月20日までの予約を受付中であり、全ての日程で空きがある状況。
- オミクロン株対応ワクチン(ファイザー)～11月26日までは予約を満たしている状況。12月3日以降の日程については、明日(11月3日)から予約受付を開始。

接種会場	ホテルエミシア札幌(札幌市厚別区厚別中央2条5丁目)					
使用ワクチン	ノババックスワクチン			ファイザー社2価ワクチン(BA.4/5)		
対応接種回数	1回目	2回目	3回目	3回目	4回目	5回目
対象年齢	12歳以上		18歳以上	初回接種を終了した12歳以上		
接種券	道内の市町村が発行した1～3回目用の接種券			道内の市町村が発行した ◆3・4回目用の接種券 ◆オミクロン株対応ワクチン用接種券		
実施期間	令和4年10月8日～12月18日までの日曜(10月23日までは土日祝実施)			令和4年10月29日～12月17日までの土曜、祝日		
接種体制	1日当たり、240名			1日当たり、360名		
	協力機関:北海道医師会、札幌医科大学、北海道薬剤師会、北海道看護協会等					
予約受付	WEB:道のホームページからアクセス 電話:050-3851-0181(専用コールセンター)					

全数届出見直し後の状況について（概要）

【全道】9/27～10/23

【概ね運用開始から1か月の状況】

陽性者数	発生届(※)	発生届割合	(参考) 65歳以上	65歳以上 割合	(参考) 65歳未満(※)	65歳未満 割合
66,010	16,420	24.9%	7,943	12.0%	8,477	12.9%

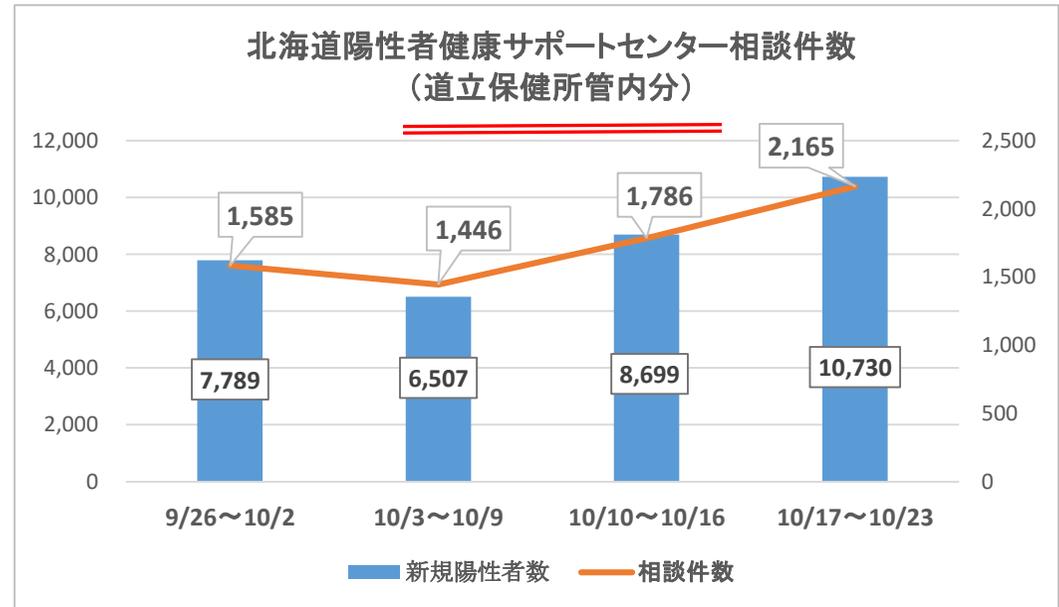
※発生届は10月24日現在のHER-SYSデータ

※65歳未満⇒入院、基礎疾患あり、妊婦、コロナ治療薬処方 等

【全道】9/27～10/23

陽性者数	陽性者登録 センターでの判 定	センターの 陽性判定割合
66,010	12,344	18.7%

直近1週間(10/17～23)では
自己検査割合19.1%



＜全数届出見直し後の状況＞

- 発生届対象者の割合は、新規陽性者数の約 1 / 4 (24.9%)
- 陽性者登録センターでの陽性判定割合は、新規陽性者数の 2 割弱 (18.7%)
- 北海道陽性者健康サポートセンターの相談件数は、新規陽性者数の増加に比例して推移 (陽性者の約 2 割)
- 発生届対象外の方からの療養相談等に、24時間体制で対応